

琉球大学学術リポジトリ

住いにおける洗濯場の位置と広さ

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 比嘉, 美佐子 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/21047 |

住いにおける洗濯場の位置と広さ

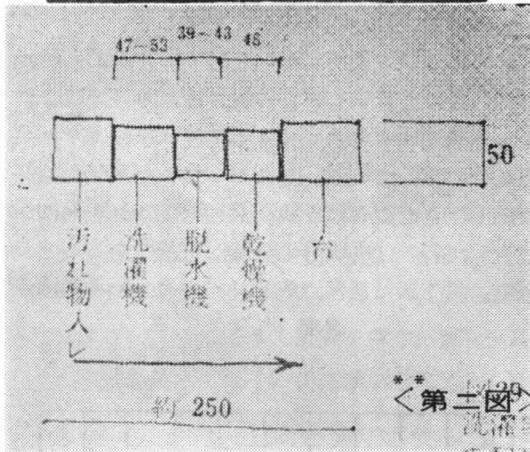
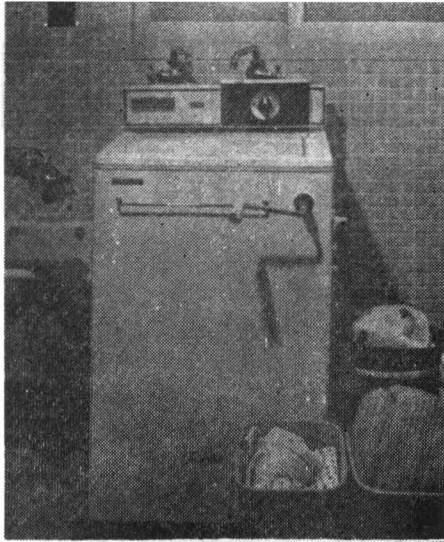
夏になりますと、洗濯物がどうしても多くなり主婦は一層忙しくなって参ります。洗濯機が普及される以前は、住宅内に洗濯のための場所として特別に設けられた家は少なく、戸外で洗濯という、長時間連続した作業をしていました。水道が設けられ、浴室もできますと、洗濯は室内作業となり、浴室が重宝がられるようになりました。浴室は給水と排水に便利であり、風呂の残り湯も利用できるので浴室兼洗濯場となったようです。併しながら、洗濯機の普及率が年々高くなってきている今日、これから住宅を新築又は改造なさる方は、洗濯機を考慮に入れて洗濯場の位置と広さについて検討する必要があると思います。

1. 洗濯場の位置

洗濯機は電気器具なので、高温で密閉した部屋に長時間置くのは管理上好ましくありません。できるだけ風通しの良い、又直射日光のあたらない乾燥した、即ち湿気の少ない場所で管理することが望ましいのです。住いにおける洗濯場の位置にはいろいろと考えられましようが、間どりやその他の制限から、独立した洗濯場を設けることは多くの住宅では難しいようです。それで住いの他の部屋と兼用の洗濯場ということになりますが、夫々の特徴を心得えて洗濯場の位置を決定したいものです。

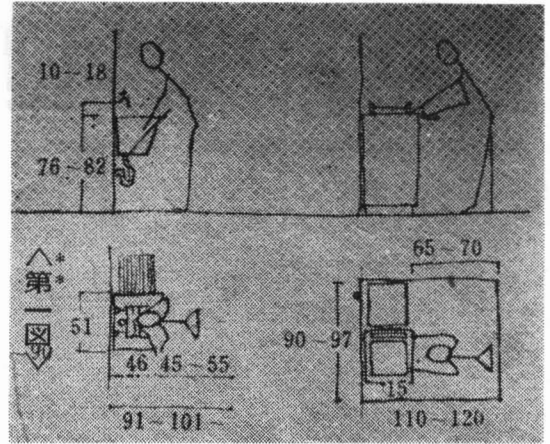
洗濯場の特徴

| 洗濯場の位置 | 長所 | 短所 |
|--------------------|--|--|
| 1 脱衣所兼洗面所に設けられた洗濯場 | 排水が容易。浴室の残り湯を利用するのに便利。脱衣（汚れ物）の始末に便利。 | 物干し場への動線が長くなりがち。 |
| 2 勝手口に設けられた洗濯場 | 排水が容易。物干し場へ便利。主婦の家事作業範囲にあるので機器の操作に便利。 | 勝手口の内部仕上げが悪いと、洗濯機によくない。 |
| 3 台所に設けられた洗濯場 | 台所仕事と洗濯を同時にすることもできる。物干し場への出入りに便利。 | 電気洗濯機の排水が流しに限定されるきらいがある。台所兼食堂では、仕事場で食事をしているような落着かない雰囲気になりやすい。 |
| 4 家事室としての洗濯場 | 洗濯・乾燥・アイロン・裁縫等の仕事の一部屋で出来るように設備されている場合、一貫した家事ができるので管理面から良い。 | 比較的大きな住宅に可能で、設備や部屋の管理がよくないと、物置き場のようになる。 |
| 5 別棟にある洗濯場 | 住宅内に洗濯場がとれない、又は大家族で洗濯物が多い家庭に考えられる。住宅内のに比べて、場所が広くとれるのと、物干し場としても使える。 | 建物の構造や内部仕上げがよくないと、洗濯機類のもちが悪い。 |
| 6 浴室兼洗濯場 | 排水が容易。残り湯を利用するに便利。入浴の際の脱衣（汚れ物）を洗濯するのに便利。 | 湿気が多く、洗濯機によくない。スノコのような台に置いて、湿気をさける方法を考える。入浴時には洗濯機に覆いをかぶせること、但しビニールの覆いをずっとかぶせればなしにすると逆効果となる。浴室で洗濯機を操作するには、アースを完備すること。 |



2. 洗濯場の広さ

洗濯場の広さは1)洗濯機・脱水機・乾燥機等の型式, 2)洗濯槽, 3)洗濯用具整理棚, 4)洗濯物入れ, 等の大きさに左右されます。洗濯機と洗濯槽だけを配置した最小面積の一例を示しますと図1のようになり, アパートや小住宅向きと云えましょう。又, 汚れ物入れ—洗濯機—脱水機—乾燥機—作業台を並べると図2のように約2m 50cmになり, 3. 3㎡ (1坪) の広さが最低必要です。戸棚や湯沸器 (ボイラー) 等を備えると, 4. 95㎡ (1.5坪) から 8. 3㎡ (2. 5坪) の広さが望ましいということになります。日本の或る住宅統計では, 調理以外の家事作業の場として, 延面積100㎡ (30.4坪) 以上の住宅に約5—1



5㎡ (1.5坪—4.5坪) とられているようです。住宅面積からくる制限がありますので, 住い全体とのバランスを考慮して洗濯場の広さを決めなければなりません。

洗濯場の設備の一つに洗濯槽があります。洗濯機があっても, すゝぎ, 下洗い, 漂白等に使用しますので是非とりつけないものはです。(図1参照)

洗濯機のソケットを差し込むコンセントの位置は, 洗濯機の高さより上にとりつけるのが望ましいです。床に近いと水に濡れやすいし, 濡れた手で触れると感電する危険もあり, 又差しこむときに不便です。

住いにおける洗濯場の位置と広さについて, いくらか述べましたが, 夫々の家族が違った顔ぶれであるように, 各家庭における洗濯物の処理のしかたも多少異ってきますでしょう。家族構成, 住宅の面積や間どり, 洗濯の設備等を考慮に入れて各家庭に適した, 即ち長期間満足して使える洗濯場を持ちたいものです。

(比嘉美佐子)

註 * 「持ちものどくらし方」婦人之友社

** 「ニューハウス」1965年5月号